

国際私法学会理事会：議事録

- 日時：2023年5月11日19:00～
- 場所・方法：オンライン会議システム（zoom）による理事会

出席者：

理事：青木清、岡野祐子、織田有基子、北澤安紀、国友明彦、河野俊行、
嶋拓哉、高杉直、出口耕白、道垣内正人、長田真里、中西康、中野俊一郎、
檜崎みどり、西谷祐子、林貴美、横溝大(以上、17名)

監事：佐野寛(以上、1名)

欠席：神前禎、早川眞一郎(以上、2名)

議事録作成補助のため、理事長補佐（種村佑介）が陪席。

議題：

【報告事項】

1. 日韓国際私法学会学術交流協定第2条に基づく共同学術大会（於韓国・釜山）の開催（日程・派遣者の確定、2027年度の日本開催に関する件）

青木清理事長より、日韓国際私法学会学術交流協定第2条に基づく共同学術大会を、2023年9月16日（土）に韓国・釜山広域市の東亜大学ロースクールにて開催することで韓国国際私法学会と合意した旨の説明があり、①共同学術大会のテーマは、"Current Developments in the Law and Practice of Japanese Choice-of-Law Rules"とすることで調整中であること、②派遣者については、現事務局3名（青木、横溝、種村）に加え、早川眞一郎会員（専修大学）と村上愛会員（北海学園大学）の5名を予定していること、③従来からの運営を踏まえると、2027年に開催する研究大会等で、韓国国際私法学会から5名程度を招き、共同学術大会を日本において行うことになる旨、報告された。

2. 国際私法年報に関する件

嶋拓哉年報編集主任より、年報の刊行費用が慢性的に高騰し、発行元の信山社に赤字が出ている状況であり、同社に過度な負担をかけることなく今後も年報の刊行を継続していくためにも、契約単価の見直しや将来的な年会費の増額なども視野に入れつつ、学会として対応を検討していく旨、報告された。

【審議事項】

1. 2022 年度決算報告の総会提出

(1) 決算

林貴美会計主任より、別添②「決算案」に基づき 2022 年度の決算について報告があり、審議の結果、総会に提出することについて、異議なく了承された。

2. 2023 年度予算案の総会提出

(1) 予算案

林貴美計主任より、別添③「予算案」に基づき 2023 年度の予算案の報告があり、審議の結果、総会に提出することについて、異議なく了承された。

3. 新入会会員承認の総会提出（会員の異動に関する件）

青木清理事長より、以下の 11 名の入会希望者（2023 年 5 月 10 日時点。2023 年 4 月 5 日の理事会で承認された 6 名を含む）の入会を総会に提案することについて説明があり、異議なく了承された。

板倉 由実、阪口 英子、KHONGORZUL BATKHUYAG、芳賀 雅顯、Akhadjon Khakimov、宮島 英明、伊藤 洋平、衛藤 凜哉、井川 志郎、唐 瑞修、石川 風太

4. その他

青木清理事長より、次回は第 136 回（2023 年度）研究大会中の 6 月 10 日（土）11 時 50 分より理事会が、同日の 17 時 10 分より 2023 年度総会が、同日の 17 時 40 分より新理事会（新理事長の選出）が実施されることについて説明があり、いずれも異議なく了承された。

以上のとおり、間違いありません。

2023 年 5 月 14 日

議事録作成者（理事長） 青木 靖

議事録署名人 橋本 大